

男らしさの過剰補償についての研究

—中国人留学生を対象として—

○董星宇・森永康子

(広島大学大学院教育研究科)

男らしさは強さや権威等を象徴するが、実際には不安定で、常に証明しなければならないものである (Vandello et al., 2008)。男らしさの過剰補償理論 (Willer et al., 2013) によると、補償は通常の水準を維持するため欠如した部分を補うものだが、過剰補償は脅威がない時も脅威を受けた時と同じように極端に男らしさを示すことである。Willer et al. (2013) は、男らしさの脅威を強く感じている男性は、過剰補償の傾向をもっていることを相関研究により示した。本研究は、中国人留学生を対象にし、男らしさの過剰補償理論について検討する。本研究の説明変数の一つ目は Willer et al. (2013) の質問紙調査と同じように、男性地位への脅威である。また、脅威を感じていても、男らしさを証明する必要があると思わない人は、過剰補償の傾向を示さないのではないかと考えられる。つまり、脅威を強く感じている人が過剰補償するのは、不安定な男らしさ信念を持っている場合だけではないだろうか。それを検討するために、不安定な男らしさの信念を二つ目の説明変数にした。

本研究の仮説は「不安定な男らしさの信念を持っている人で男性地位への脅威を知覚している人は過剰補償する傾向を持つ」である。

方法

参加者 広島大学中国人留学生の男性 104 名。年齢は 18～35 歳 (平均 24.7 歳)。滞日期間は 0.5 から 157 ヶ月 (平均 19 ヶ月)。

質問項目 Willer et al. をもとに質問紙を作成したが、彼らの用いた質問項目が少なかったため、既存の尺度を参考に新しい項目を作成した。知覚された男性地位への脅威 3 項目 (Wilkins et al., 2015, $\alpha=.752$)、不安定な男らしさについての信念 6 項目 (Vandello et al., 2008, $\alpha=.786$)。男性地位への脅威と不安定な男らしさの相関は $r=.117, p=.249$ 。男らしさの過剰補償の指標として、戦争への支持 6 項目 (Velicer et al., 1989, $\alpha=.757$)、同性愛者へのネガティブな態度 5 項目 (Herek, 1988,

$\alpha=.855$)、男性優位への態度 5 項目 (World Values Survey, $\alpha=.775$)、社会的支配志向性 6 項目 (Pratto et al., 1994, 反平等 $\alpha=.610$, 格差 $\alpha=.361$) を測定した。すべて 5 件法。なお、質問は全て中国語で行った。

結果と考察

男性地位への脅威と不安定な男らしさの信念とその交互作用を説明変数、男らしさの過剰補償の指標を目的変数として重回帰分析を行った (表 1)。知覚された男性地位への脅威が高い男性ほど、男性優位への信念を強く持ち、集団間の格差を支持することが示された。また、同性愛者に対してもネガティブな態度を持つ傾向があった。このように、Willer et al. (2013) の理論を支持する方向での結果が得られた。

しかし、予測した男性地位への脅威と不安定な男らしさの信念の交互作用は有意ではなく、本研究の仮説は支持されなかった。不安定な男らしさの信念が、戦争への態度と反平等的態度を予測していたことから、この信念そのものが過剰補償を導く可能性が示唆された。つまり、不安定な男らしさの信念は男性地位への脅威とは異なる過剰補償の側面に影響する可能性があると言えよう。今後は、過剰補償の側面 (例えば、攻撃傾向など) を考慮しながら、男らしさの過剰補償理論について検討する必要があるだろう。

表 1 重回帰分析の結果

	戦争への支持	同性愛へのネガティブな態度	男性優位への態度	支配志向 (反平等)	支配志向 (格差)
年齢	-.093	.273 *	.299 *	.045	.039
滞日時間	.033	.030	-.065	-.050	.075
出身地 (1:都市部, 2:非都市部)	.000	.182 +	.089	-.158	-.215 †
知覚された男性地位への脅威	.107	.172 +	.253 **	.096	.278 *
不安定な男らしさの信念	.306 **	.014	.145	.360 **	.031
不安定な男らしさの信念*	-.069	-.010	.172	.132	-.156
知覚された男性地位への脅威					
R ²	.107 †	.185 **	.242 **	.166 *	.108

** p < .01 * p < .05 † p < .10